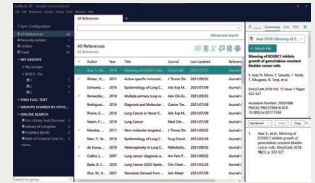


フィードバックからインスピレーションを得た「**新しいモダンルックと使用感**」を兼ね備えた

# EndNote™ 20

## 01 より見やすくわかりやすい 直感的なインターフェイス

文献管理と論文原稿の準備にかかる時間をさらに節約できます。



## 02 複数ページで同時作業可能な **タブ切り替え**

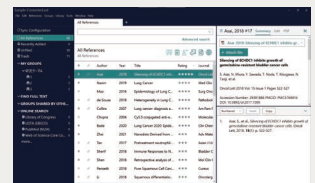
タブ切り替えにより、ライブラリ内複数のページ同時に表示可能になりました。その為、これまでより効率的に作業を同時に進行することができます。

※Win版のみ対応・Mac版2022年内実装予定



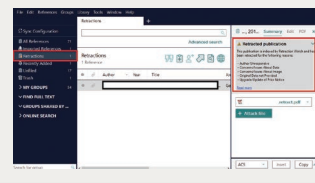
## 03 重要な文献情報を強調表示 参考文献リストの形式で文献情報のコピー＆ペーストも可能

選択した文献の抄録やタイトル、掲載ジャーナルなど重要な情報を強調表示。画面を移らずに文献情報を簡単に閲覧できます。参考文献リストの形式で文献情報をコピー＆ペーストすることも可能です。



## 04 Retraction Alerts 撤回論文通知機能

Retraction Alertsでライブラリ内に撤回論文がある場合に自動で検知します。撤回された論文を誤って引用してしまう危険を未然に防ぎます。



従来のEndNoteの全機能と柔軟性は、もちろんそのまま。

### 文献の収集・管理



#### PDFファイルの取り込み

学術文献データベースやフルテキストPDFから、文献情報を簡単に取り込み。

#### 強力な検索機能

取り込んだPDFの本文も検索対象なので、キーワードを入力するだけで目的の文献が簡単に見つかる。

### 同期・共有



#### どこからでも 自分のライブラリにアクセス

オンラインアカウントと同期することで、職場・自宅・外出先・iPad・iPhoneからアクセス可能。

#### 文献共有に最適なライブラリ共有

共同研究や研究室内での他のEndNoteユーザーと、作成したライブラリを400名まで共有可能。

### 論文作成支援・引用



#### 参考文献リストを自動作成

EndNoteに保存された文献情報をドラッグ＆ドロップで参考文献リストを瞬間作成。

#### 投稿規定に沿った体裁に一発変換

ジャーナル名を選択するだけで投稿規定が変更されるので、投稿先の変更も簡単に可能。

## EndNote™ 20 機関／部門ライセンスについて

### 【ライセンス形態】

#### サイトライセンス

所有者全員利用可能 (500ユーザー以上)

#### 年間ライセンス

小規模部門向け (5ユーザー以上)

#### マルチユーザーライセンス

買い切りライセンス (5ユーザー以上)

### \\ メリット① //

#### 全員が最新環境で研究可能

サイトライセンスなどの年間購読ライセンスでは研究者ごとに使用するEndNoteのバージョンがバラバラになることなく統一された環境下で使用可能。

契約期間中に新しいバージョンがリリースされても、**無償でアップグレードが可能**。(マルチユーザーライセンスは除く)

### \\ メリット② //

#### 研究業績データの管理

研究者が自身の研究実績を**EndNoteで管理**することで、**指定どおりのフォーマットで簡単にデータを出力可能**。

研究者の業績を管理する部門でも、**正確なデータを統一のフォーマットで収集**することができ、業績管理システムにデータを容易に流し込むことができる。

より多くの方にEndNoteをご利用いただくため、機関や部門単位でご利用いただけるライセンスです。



面倒な文献管理と参考文献リスト作成はEndNoteにおまかせ  
「**EndNote™ 20**」詳細はこちら →



「**サイトライセンス**」について  
お問い合わせはこちら →



※価格は利用人数によって変動します。詳しくは弊社までお問い合わせください。